

**未計算賃金**の報告をお願いします

# 離職証明書（離職票）

例) R5.7.1入社 R6.7.31退職 給与月末締 日給月給制の場合

ココ！

⑧ 離職日の翌日（8月1日）	⑨	⑩ 賃金支払対象期間	⑪	⑫			⑬ 備考欄
				A	B	計	
7月1日～離職日	21日	7月1日～離職日	21日				未計算
6月1日～6月30日	21日	6月1日～6月30日	21日	210,000			基礎日数 21日
5月1日～5月31日	21日	5月1日～5月31日	21日	210,000			
4月1日～4月30日	21日	4月1日～4月30日	21日	210,000			
3月1日～3月31日	19日	3月1日～3月31日	19日	190,000			欠勤2日 (3/19,3/23)
2月1日～2月29日	21日	2月1日～2月29日	21日	210,000			
1月1日～1月31日	21日	1月1日～1月31日	21日	210,000			
12月1日～12月31日	21日						
11月1日～11月30日	21日						
10月1日～10月31日	21日						
9月1日～9月30日	21日						
8月1日～8月31日	21日						

未計算賃金の報告が必要な**理由**

# 離職証明書（離職票）

拡大図

例) R5.7.1入社 R6.7.31退職 給与月末締 日給月給制の場合

⑩ 賃金支払対象期間	⑪	⑫	
		A	B
7月1日～ 離職日	21日		①
6月1日～ 6月30日	21日	210,000	②
5月1日～ 5月31日	21日	210,000	③
4月1日～ 4月30日	21日	210,000	④
3月1日～ 3月31日	19日	190,000	⑤
2月1日～ 2月29日	21日	210,000	⑥
1月1日～ 1月31日	21日	210,000	

失業給付金の計算は

最後の完全な6賃金月に

支払われた賃金から

計算します。

左の例では①～⑥の月を  
使います。

①がないと金額の  
計算ができません。

※「賃金月」とは同一の事業主のもとにおける賃金締切日の翌日から賃金締切日までの期間をいい、その期間が満1か月であり、かつ賃金支払基礎日数が11日以上ある賃金月を「完全な賃金月」といいます。

未計算賃金の報告が遅くなると、  
失業給付支給が遅れます。



本人への失業給付金の支給を  
速やかに行うため、  
金額がわかり次第、  
早期にご報告をお願いします。

未計算賃金の報告が必要となる**ケース**

# 離職証明書（離職票）

拡大図

未計算賃金の報告が必要となるのは次の条件を満たす場合です。

- ✓ ① 賃金締切日に退職している
- ✓ ② 最終月の賃金支払基礎日数が11日以上ある

失業等給付の金額は、賃金支払基礎日数（⑪欄）が11日以上ある完全月のうち、賃金締切日に退職ヶ月分を使って計算します。

例) R5.7.1入社 R6.7.31退職 給与月末締 日給月給制の場合

⑩ 賃金支払対象期間	⑪	⑫			⑬ 備考欄
		A	B	計	
7月1日～離職日	21日				未計算
6月1日～6月30日	21日	210,000			基礎日数 21日
5月1日～5月31日	21日	210,000			
4月1日～4月30日	21日	210,000			

# 未計算賃金の報告方法

ご報告方法は

**管轄のハローワーク**に

お尋ねください。



# 未計算賃金の報告

e-GOV 電子申請

トップ

電子申請について

利用準備

手続検索

ヘルプ

e-Govポータル >

いつでも、どこでも申請  
仕事を効率化するe-Gov電子申請

**電子申請**で発行された離職票の**未計算賃金**も

管轄のハローワークにご報告ください。



ハローワーク

ハローワーク

失業給付のスムーズな支給のため、  
早期のご報告をお願いします。



未計算賃金の報告 編

完